

UAM corpus tool の使用① ver.0.1

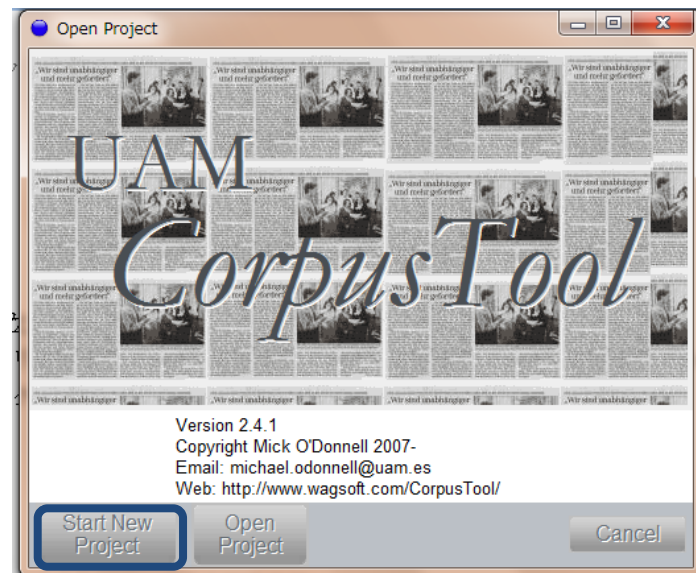
－アプリケーションの起動から分析まで－1

1. アプリケーションの起動方法からプロジェクトフォルダの作成まで

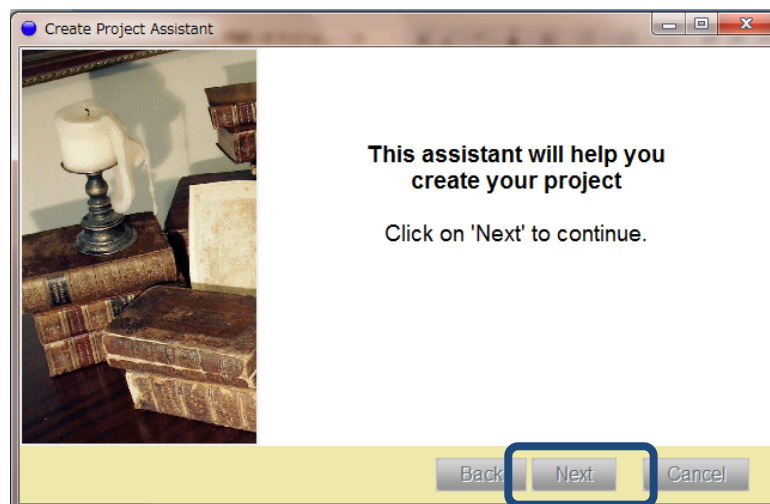
- まず、アプリケーションを起動するにはデスクトップにある UAM corpus tool のショートカットをダブルクリックしてください。



- すると以下のような画面が立ち上がるので、「Start New Project」を選んでください。

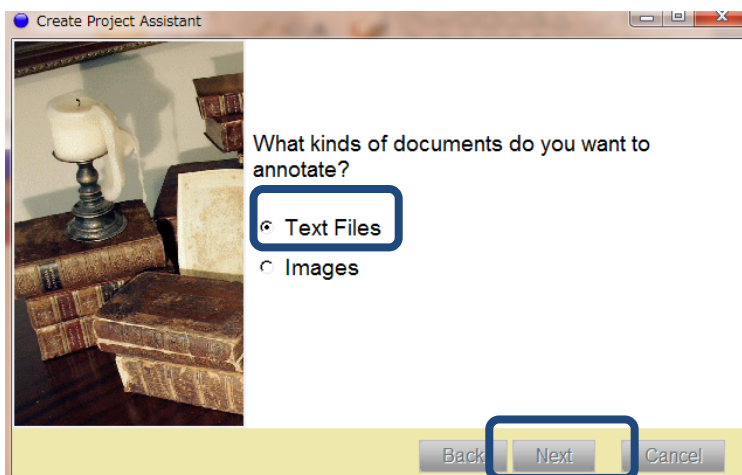


- ウィザードにそって、プロジェクトを作成してください。まず「Next」をクリックします。

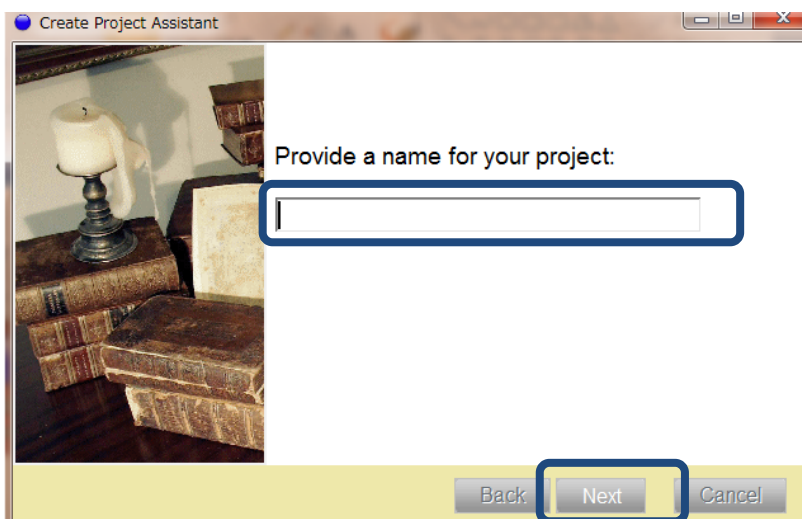


¹ この説明書は、Mick O'Donnell 氏が作成した、UAM corpus tool の利用方法を説明するものです。 <http://www.wagsoft.com/CorpusTool/index.html>

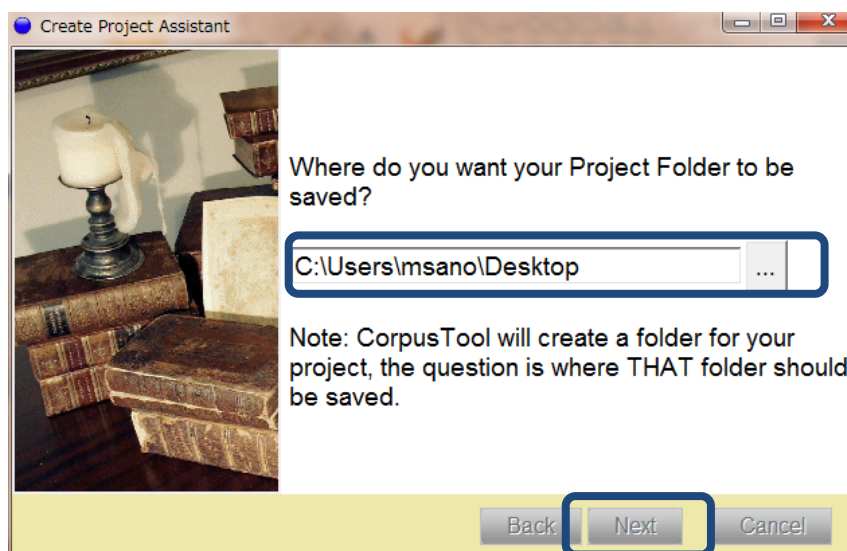
- テクストを分析する場合は、「Text Files」を、画像を分析する場合は、「Images」を選択してください。選択したら「Next」をクリックします。ここでは、「Text Files」を選択したと仮定して、話を進めていきます。



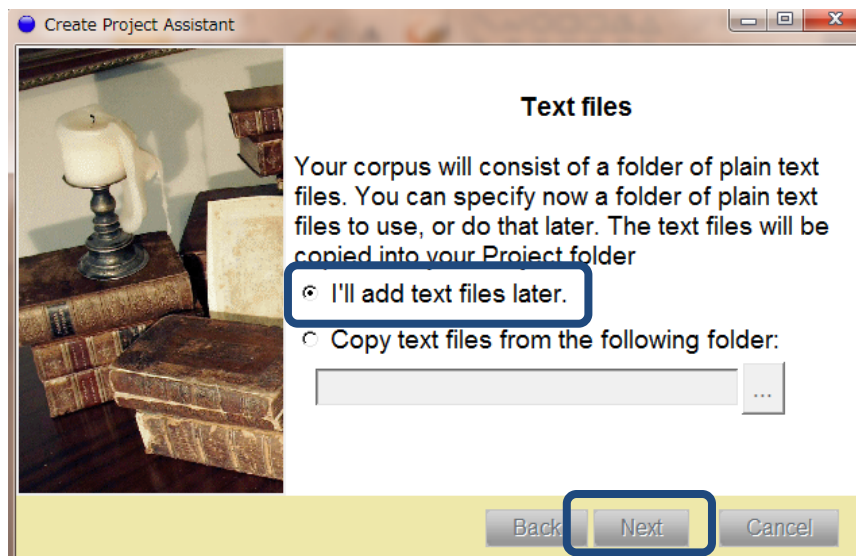
- プロジェクトの名前をつけてください。(何でもよいです) その後、「Next」をクリック。



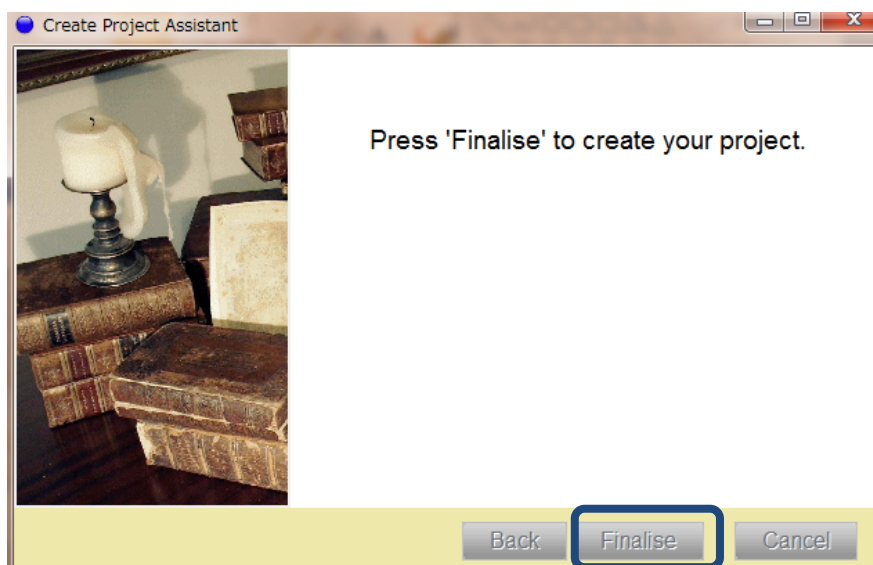
- プロジェクトの保存先を選択してください。わからない人は、デフォルトがデスクトップになっているので、そのまま「Next」をクリックしてください。



- ここでは「I'll add text files later」を選択して「Next」をクリックしてください。（あるフォルダに含まれるテキストファイルを全て分析したい場合は、「Copy text files from the following folder」を選んでください。）

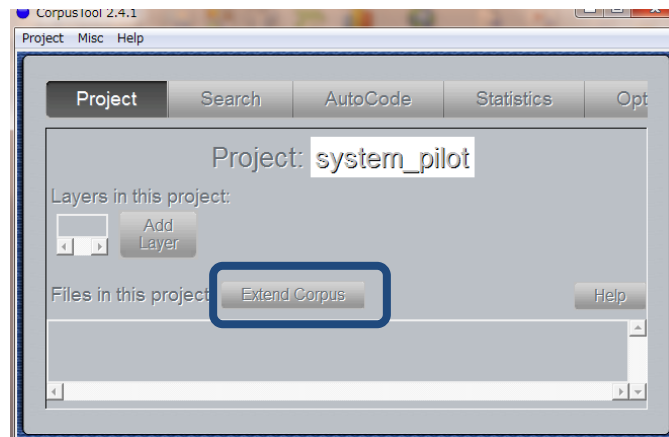


- 「Finalise」をクリックして、これでプロジェクト用のフォルダの作成終了です。

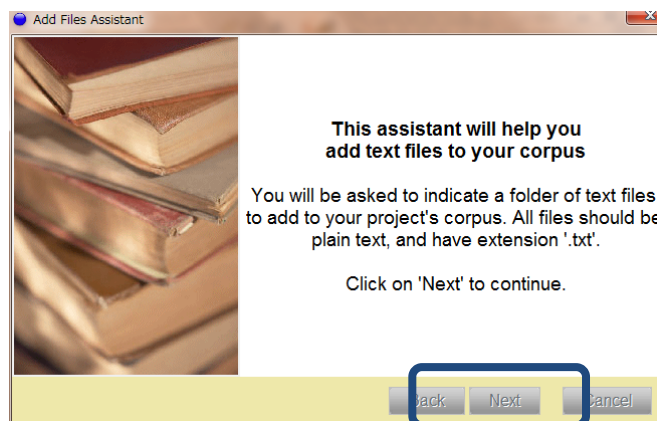


2. 分析用テキストの取り込み

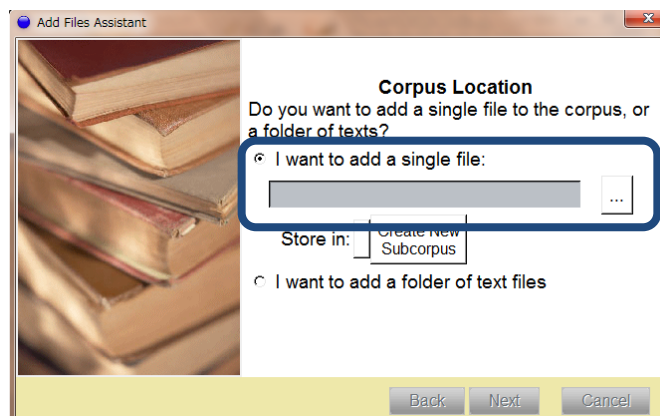
- 1の作業を終了すると、以下の画面が自動で立ち上がります。画面が立ち上がったら、「Extend Corpus」をクリックしてください。



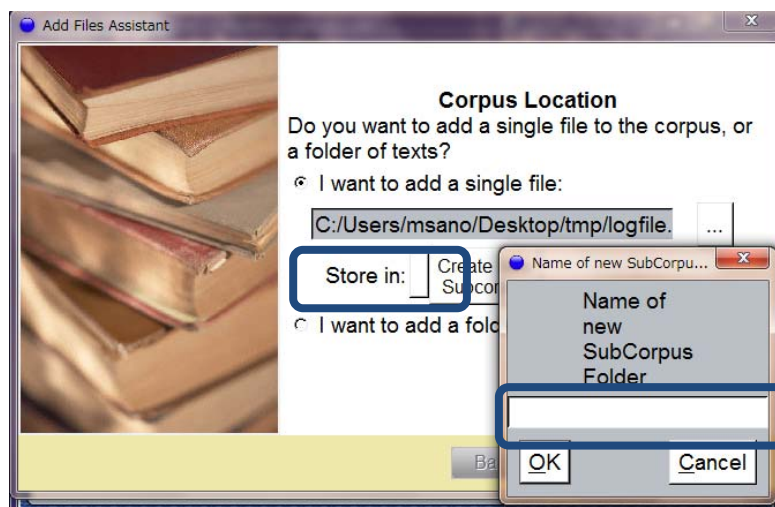
- すると以下のような画面が立ち上がるので、ウィザードにそって、テキストを取り込みます。この際、分析するテキストは必ず.txt (テキストファイル) 形式にしてください。Wordファイルなどは、取り込めません。「Next」をクリックすると、次の画面に進みます。



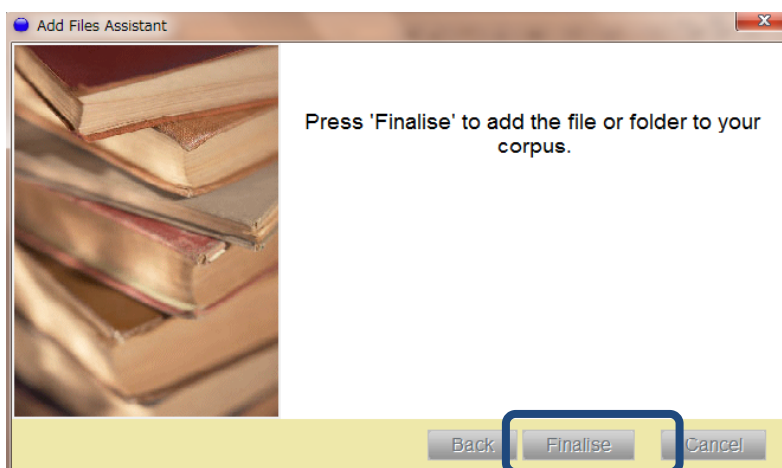
- ここでは、「I want to add a single file」を選択してください。あるフォルダに含まれるテキストファイル全て分析したい場合は、「Copy text files from the following folder」を選んでください。）



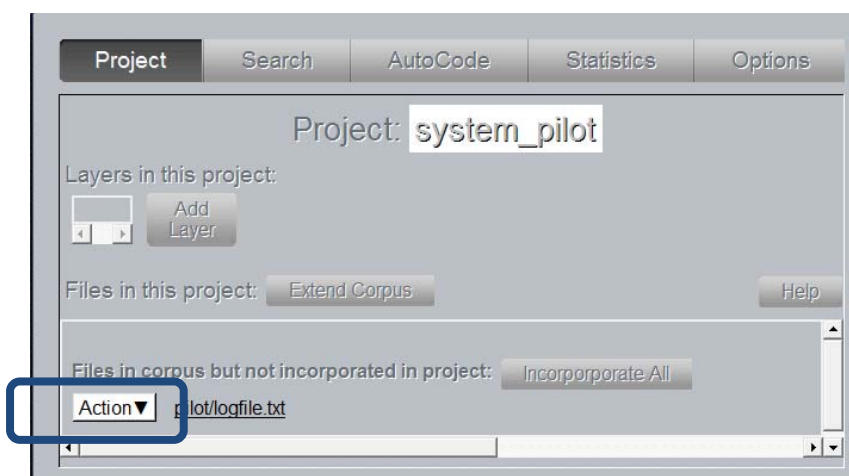
- 分析対象となるテキストを格納するコーパスの名前を付けてください。(何でもよいです)



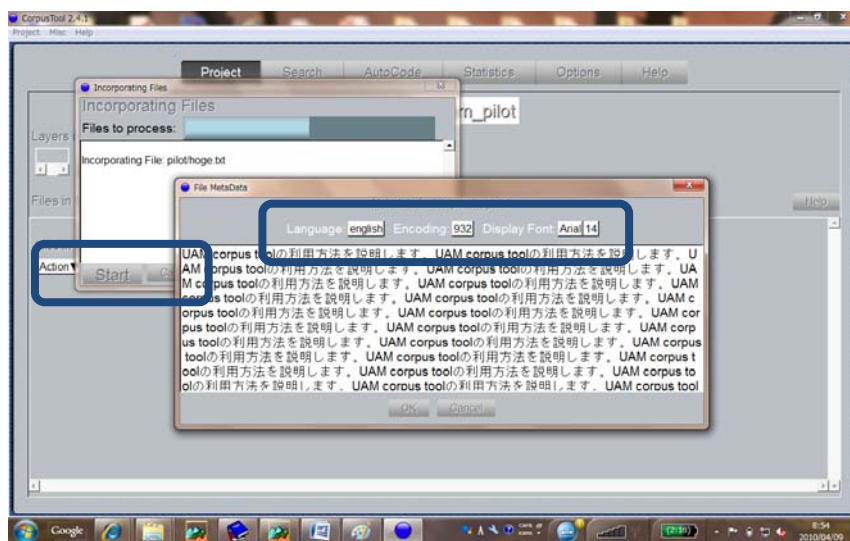
- 「Finalise」をクリックして、終了です。



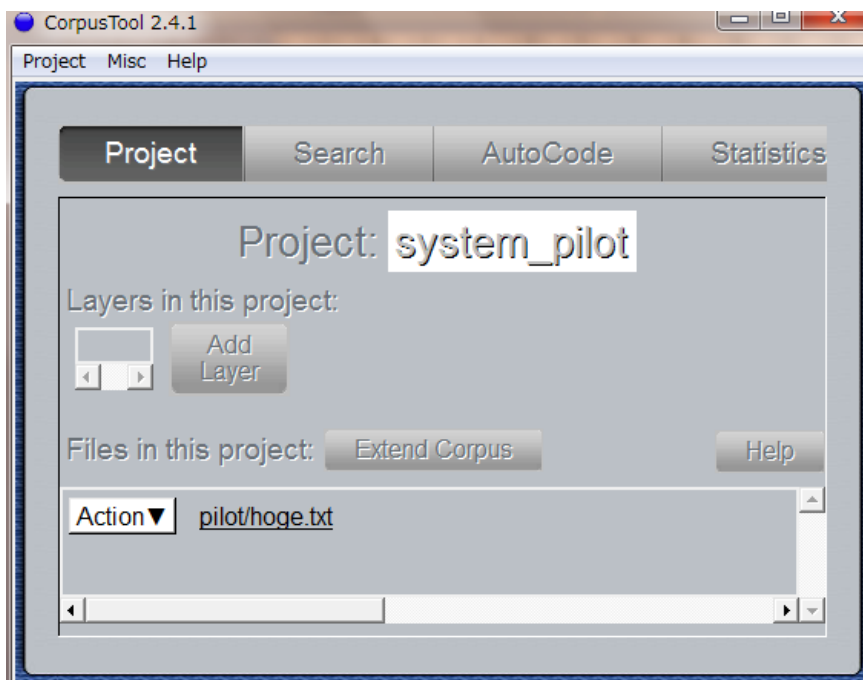
- 次に、メイン画面に戻り「Action」をクリックし、「incorporate File」を選択。



- 「スタート」を押すと以下のような画面がでてくるので、「Language」「Encoding」「Display Font」を適当なものにします。日本語を分析するなら Language は「Japanese」 Encoding は、日本語の文字コードか Unicode にします。

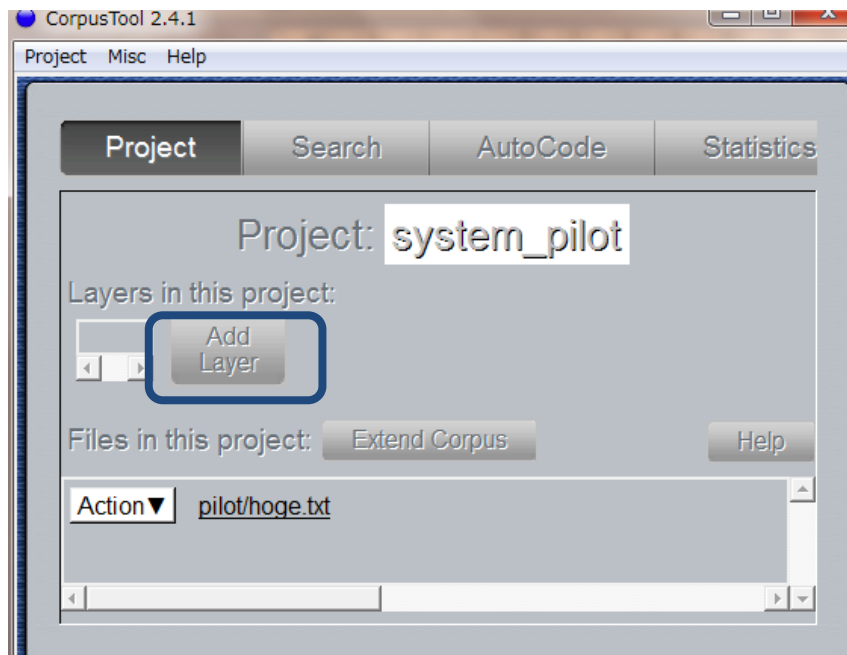


以下のように、「Files in this project」の下に分析対象のファイルがくれば OK。

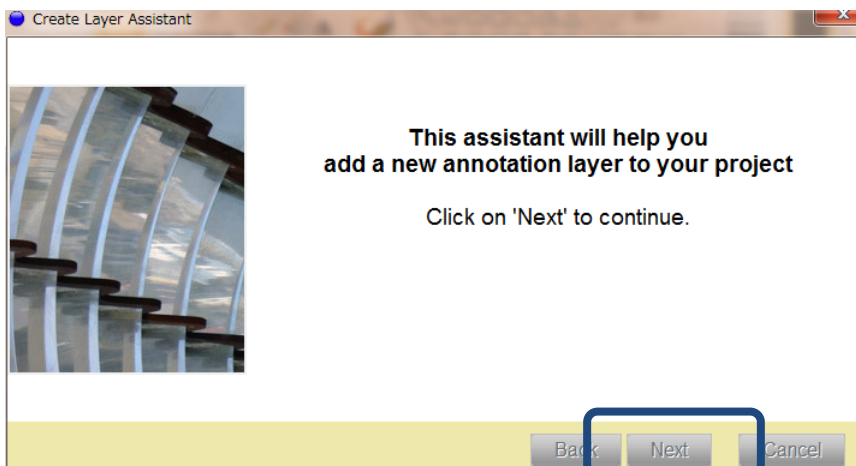


3. システムネットワークの記述

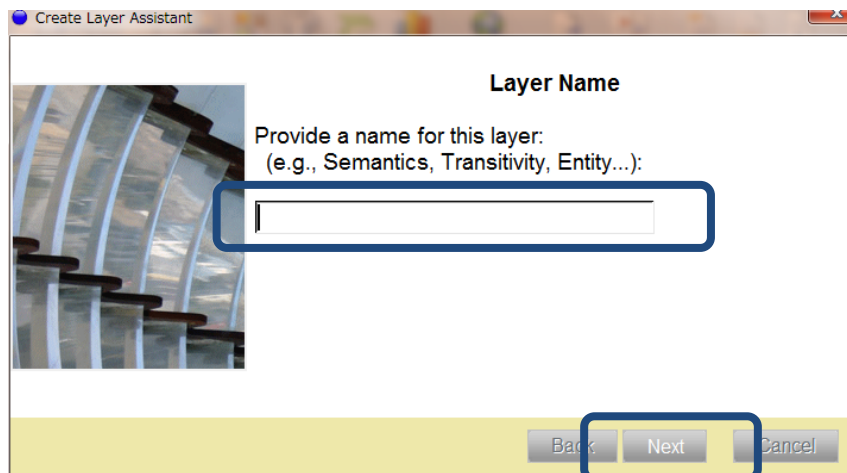
- 「Add Layer」をクリックします。



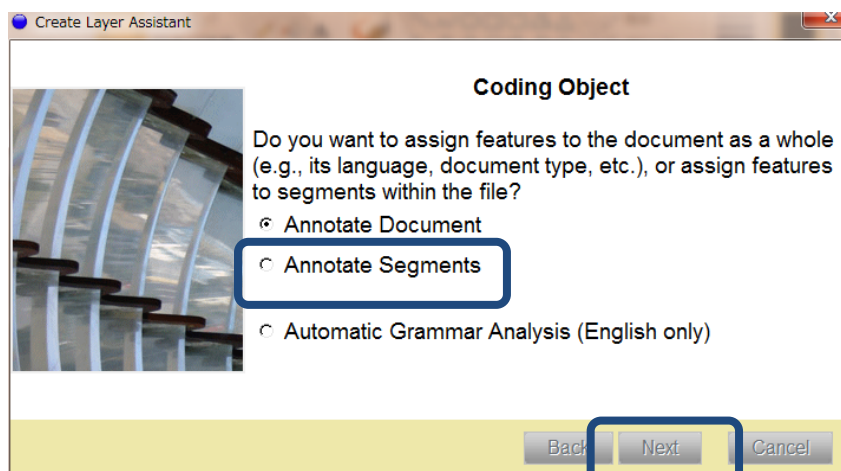
- すると、以下のような画面が立ち上がります。「Next」をクリックしてください。



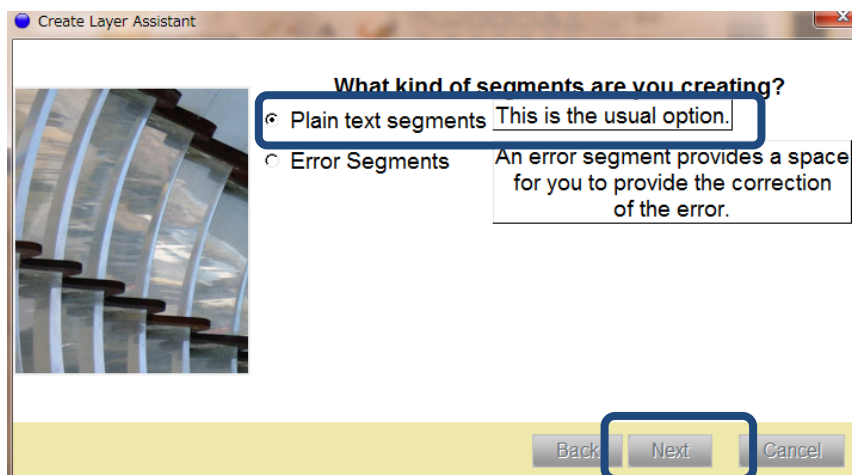
- 分析する手法や対象の名前を入力してください。(何でもいいです)



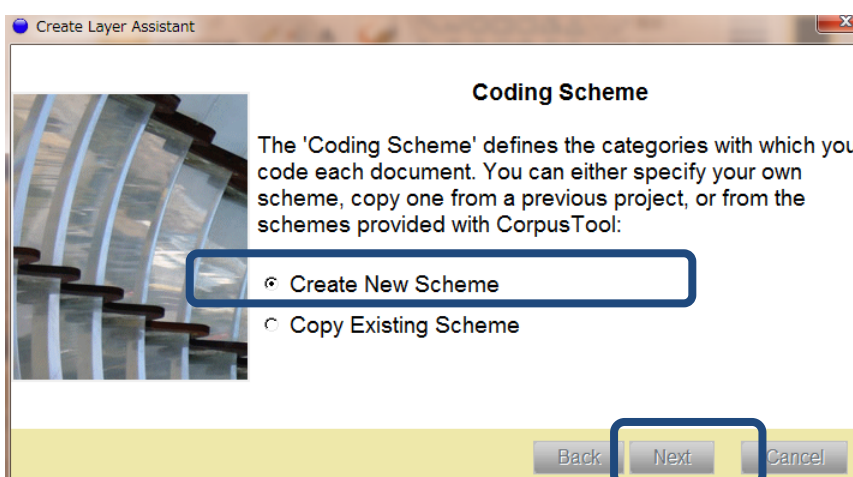
- テキスト全体の属性に関する分析（例えば discourse of Field）をするのか、テキストの一部を分析するのか（例えば、transitivity analysis）選択してください。この場合は、「Annotate Segments」を選択してください。その後、「Next」をクリック。



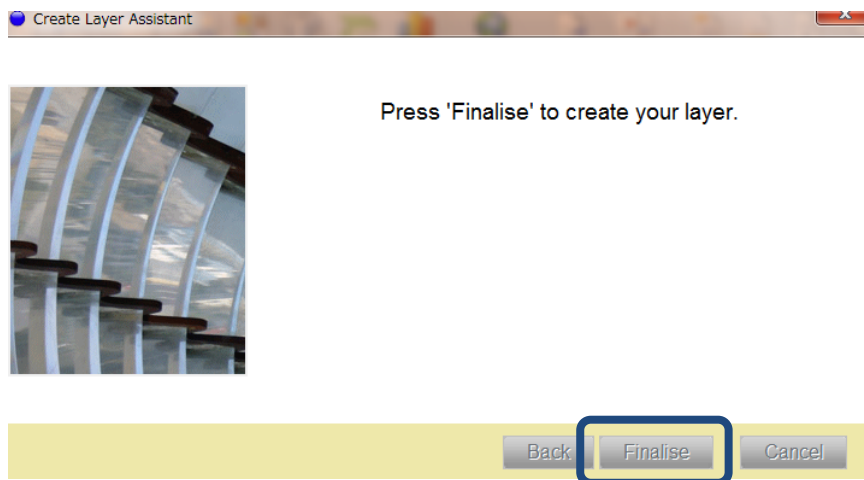
- 「Plain text segments」を選択してください。その後、「Next」をクリック。



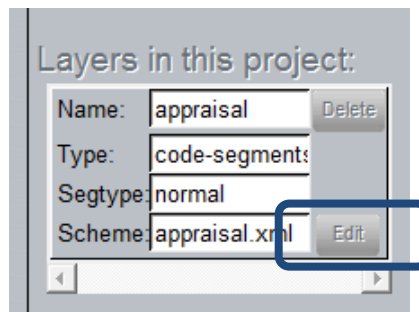
- 「Create New Scheme」を選択してください。その後、「Next」をクリック。



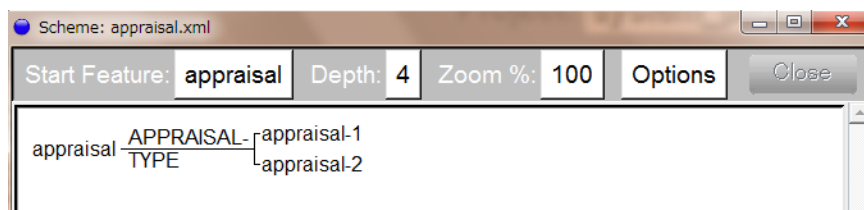
- 「Finalise」をクリックして完了。



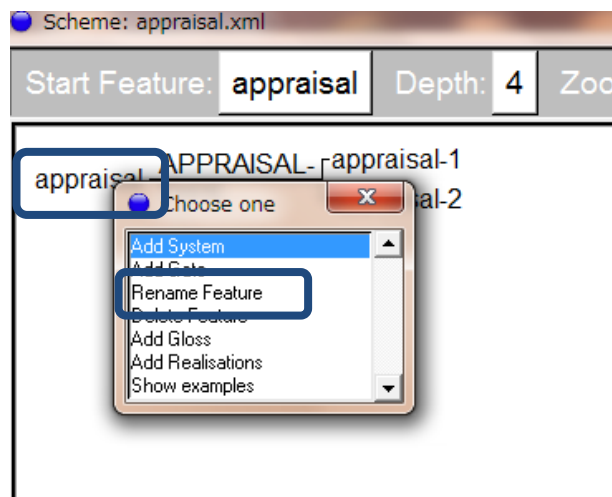
- メイン画面に戻って、「Edit」をクリック。



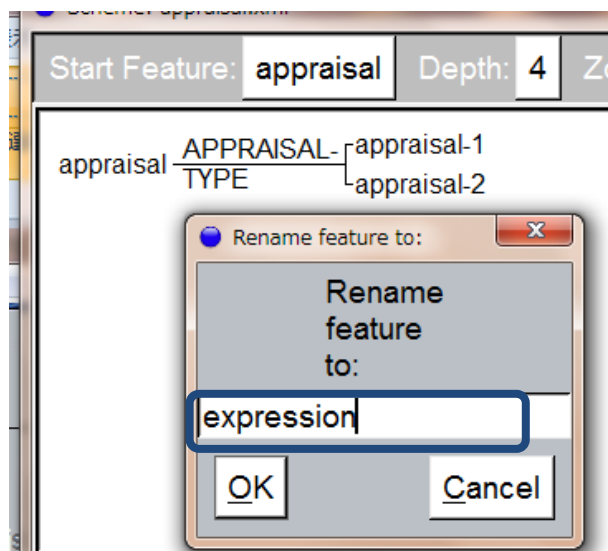
- 以下のような画面が立ち上がります。
まず feature（選択肢:この場合は、「appraisal」）の名前の変更方法を説明します。



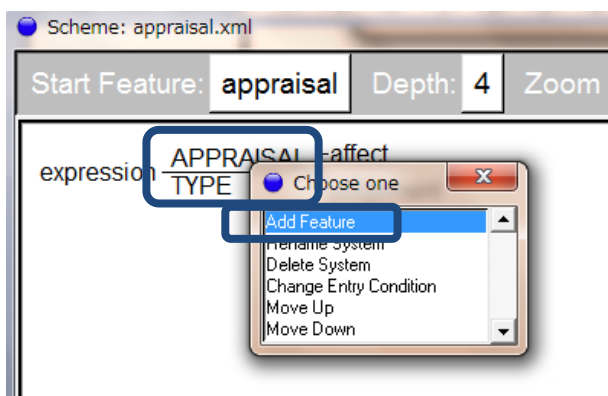
- 当該の feature（この場合は、「appraisal」）をクリックします。その後、「Rename Feature」をクリックしてください。



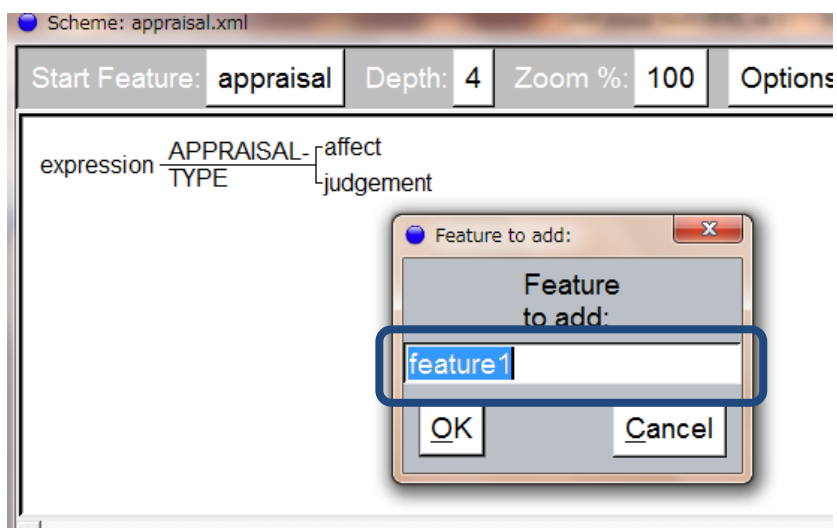
- 以下のような画面が立ち上がるので、feature の名前を適切なものに変えてください。これが、feature の名前の変え方です。他の feature も適宜名前を変更してください。



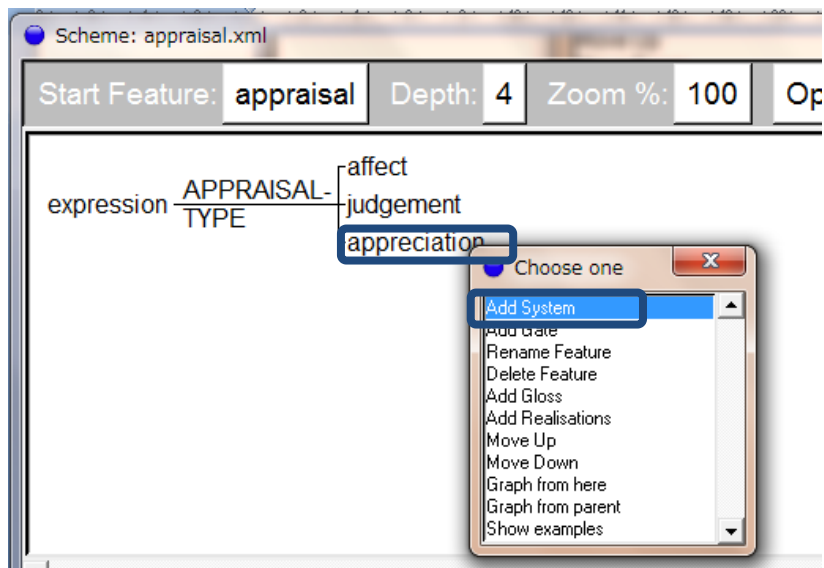
- feature を追加したい場合は、system 名（この場合は、APPRAISAL TYPE）をクリックして、「add Feature」をクリックしてください。



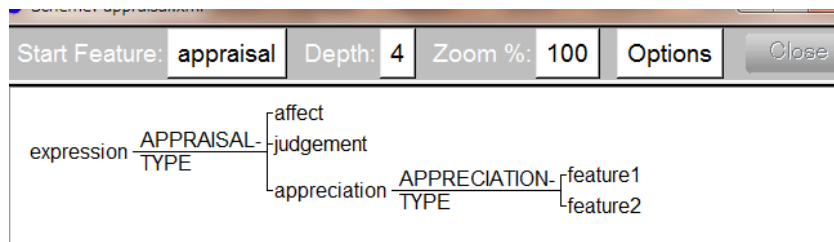
- 以下のような画面が立ち上がるので、適当な feature の名前を入力してください。



- 次に、system の追加方法を説明します。system を追加したい「feature」をクリックしてください。この場合は、「appreciation」をクリックすることになります。すると、以下のような画面が立ち上がります。「Add System」を選択してください。

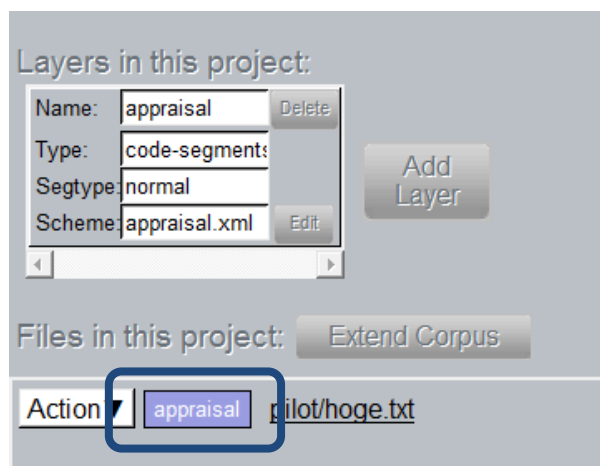


すると、以下のように system 「APPRECIATION TYPE」が追加されます。



* Simultaneous system を書きたい場合は、同じ feature から 2 つの system を追加すればできます。

- メイン画面に、「appraisal」と現れて、これで分析が可能な状態になります。



*****以上*****